

新城市民病院での研修を終えて

名古屋第一赤十字病院 研修医

豊橋市出身の私にとって新城は、幼いころに鮎のつかみ取りに行ったり、湯谷温泉に行ったりととても身近な場所でした。なので、新城市民病院での研修は、とても楽しみにしていました。聞き慣れた三河弁が飛び交い、名古屋弁に囲まれて生活していた私には逆に新鮮で、とても懐かしく感じました。研修では、主に初診外来を担当させて頂きました。救急外来での診察とは違い、患者さん一人一人に丁寧に時間をかけて診察するため、待ち時間が長くなってしまった方も多くいました。それでも文句一つ言わず、穏やかに接して下さる方ばかりで、新城の方たちの人間性の良さを日々感じていました。

診断をつけることを検査に頼りきっていた私には、問診と身体診察だけで病気の検討をつけるという考察力が全く備わっていませんでした。指導医の先生からの振り返りで、自分の問診の甘さを実感し、先生方のテクニックを少しでも盗んで次回につなげようと復習しました。この毎日行われる振り返りでは、疑問点をその日のうちに解決することができ、とても有益なものでした。毎朝の勉強会や EBM 勉強会では、先生方の知識の豊富さと勉強量に驚かされ、自分の勉強量の足りなさや甘えを痛感しました。たった 15 分の時間でも、様々な領域の知識が 1 つ 1 つ増えていき、今後の診療に役立てていきたいと思うものばかりでした。先生方は皆、与えられたものをこなすだけでなく、自ら積極的に学び自分の診療に役立てる、という理想の医師像そのものだと思います。

その他にも、作手診療所や介護老人保健施設、しんしろ助産所でも研修させて頂き、地域医療ならではの特性や欠点、利点を学ばせて頂きました。

特に印象に残っているのは、訪問看護に同行させて頂いたことです。救急医療の現場で働いている私にとって、在宅医療の考え方は馴染めないものでした。救急の現場では、何よりも命をつなぐことが目標で、本人や家族の意思や希望まで考えていなかったと思います。自宅で看取るとはどういうことなのか、残された時間をどのように過ごすのか、患者本人と家族の希望にそって医療者側が体制を整えるとはどういうことなのか、今まで考えた事もなかった問題でした。訪問看護をされている看護師さんや訪問看護を利用されている患者さんに話を聞き、少しですが、地域医療の在り方が理解できたように思います。

最後になりますが、総合診療内科の先生方、医療スタッフの方々、お世話をして下さった事務の方々、本当にありがとうございました。一緒に研修した他院の研修医の先生にも恵まれ、とても楽しく有意義な研修をさせて頂きました。名古屋に帰るのかと思うととても寂しいですが、新城市民病院で学ばせて頂いた事を無駄にすることなく、これからの診療に役立てていきたいと思っています。本当にお世話になりました。